

〈解答〉

- ① 1 A福島県 B宮城県, 仙台市 C岩手県, 盛岡市  
 D青森県 E秋田県 F山形県 北海道: 札幌市  
 2 三陸海岸, リアス(式)海岸  
 3 W有珠山 X知床半島  
 4 やませ, 冷害  
 5 Y国後島<sup>くなしり</sup> Z択捉島<sup>えとろふ</sup>  
 6 ①A ②D ③F ④C  
 7 ①B ②E ③D ④F  
 8 ①, ④, ⑤, ⑥(順不同) ②D ③F  
 9 ①アイヌ ②開拓使 ③屯田兵  
 10 ①Z ②Z ③B ④D ⑤H ⑥B  
 11 エ

配点 各1点 41点満点

〈解説〉

- ① 1 東北地方は6県で構成されている。  
 2 陸前(宮城県), 陸中(岩手県), 陸奥(青森県)にまたがっているので「三陸海岸」という。「リアス式海岸」はもともと山地の谷であった部分が、海水が入り込んでできた海岸で、三陸海岸以外に若狭湾や志摩半島などに見られる。  
 3 有珠山Wの近くには、カルデラに水がたまってできた「洞爺湖」がある。知床半島Xは豊かな自然環境や温泉、流氷などにより、多くの観光客を引きつけている。  
 4 「やませ」は沖合いを流れる、寒流の親潮(千島海流)の影響を受けて発生する。稲の生長期に「やませ」が吹くと、稲が十分に育たず、収穫が少なくなる「冷害」が起こる。  
 5 歯舞群島<sup>はぼまい</sup>, 色丹島<sup>しこたん</sup>とあわせて「北方領土」と呼ばれ、日本固有の領土である。なお、択捉島Zは日本の最北端に位置する島である。  
 6 東北地方では、農作業のできない冬の家内での仕事として、地元の森林資源や鉱産資源を利用しながら、さまざまな工芸品がつくられてきた。現在でも、伝統産業とし

て各地で続いている。

- 7 稲作の盛んな東北地方では、豊作への願いや感謝を表す祭りが多く残されている。それらは稲の収穫期前の夏から秋に集中している。
- 8 北海道西部の石狩平野は、泥炭地が広がっていたが、客土によって水田に適した土地に改良するなどして、稲作を発展させてきた。夏に気温があまり高くない十勝平野は畑作①④⑤が中心となっている。さらに寒冷な東部の根釧台地は作物の栽培には適していないため、酪農⑥を発展させてきた。②は津軽平野で、③は山形盆地で栽培が盛んである。
- 9 現在の北海道の地名には、苫小牧<sup>とまこまい</sup>などアイヌ語に由来するものが多い。
- 10 三陸海岸沖は、寒流の親潮（千島海流）と暖流の黒潮（日本海流）がぶつかる潮目（潮境）となっており、世界でも有数の好漁場である。北海道は漁獲量全国1位ではあるが、世界的な(排他的)経済水域の設定などにより、北洋漁業に従事する人は減っている。現在では、とる漁業から育てる漁業（養殖や栽培漁業）への転換が進んでいる。
- 11 日本海側は、冬になると、北西の季節風が日本海を流れる暖流（対馬海流）の影響で湿気を多く含み、山地に当たって雪をもたらす。よって、工が誤りである。